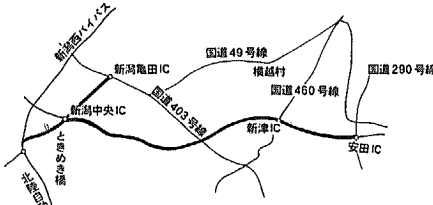


700人が開通を前に高速道を歩く

磐越・北陸自動車道開通記念健康ウォーク

磐越自動車道の新潟中央インターチェンジから安田インターチェンジまでの区間(三・八四)と北陸自動車道の新潟西インターチェンジから新潟亀田インターチェンジまでの区間(六・七四)が七月二十八日に開通しますが、黒埼町ではそれを記念して十七日に健康ウォークを開催しました。(なお、新潟市などの沿線市町村でも健康ウォークやロードレースが開催された。)

山田河川敷公園に集まった約七百人の参加者は、準備運動としてラジオ体操を行い、スタート。まだ開通前の真新しい北陸道を歩



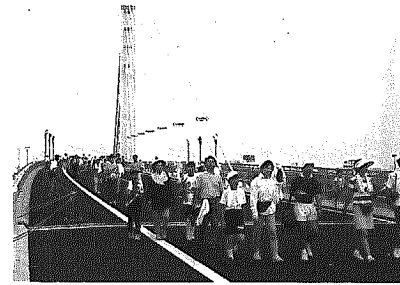
磐越・北陸自動車道の今回開通の区間



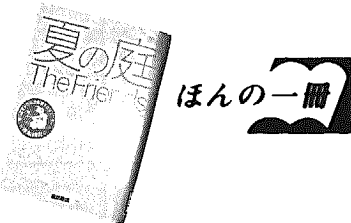
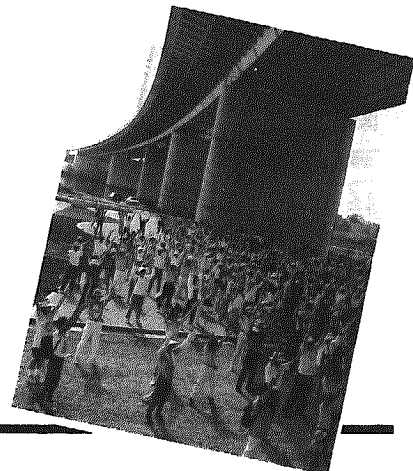
き、ときめき橋を渡りました。参加者は、橋のうえで、ちょっと足をとめて記念撮影をしたり、信濃川の心地よい風をうけながら眺めを楽しんだりと思いいのペースで健康ウォークを楽しみ、開通を



祝っていました。ときめき橋は、この機会しか徒歩で歩くことができないとあって、「一生の思い出です」との声も聞かれました。



写真上/スタートから約2キロの地点。ちょうど新潟ふるさと村の横を通りすぎて、ときめき橋にさしかかるあたり。子供たちは楽しそうに話しあいながら、周りの景色を楽しんでいた。中/ときめき橋の上。この日は信濃川から運ばれてくる風も心地よかった。(後に見えるのは新潟ふるさと村。) 下/ときめき橋を渡って、折り返し地点へ。右/親子連れで健康ウォークを楽しむのもまずは準備運動から、山田河川敷公園で入念にラジオ体操で体をほぐした。



「夏の庭-The Friends ザ・フレンズ」

湯本香樹美作 福武書店1992

音大作曲科卒業の著者の初の児童文学作品である。昨年の読書感想文の課題図書にもなった。小学6年の男の子、木山は、友達の河辺と山下の3人で、近所の一人暮らしのおじさんが死なないか見張ることにした。山下がおばあさんの葬式に出たことから、死んだ人を見たくなったのだ。毎日のように荒れ果てた家に通ううちに、3人とおじさんの間にはいつか友情のような奇妙な関係が生まれるのだった。4人で荒れた家をこぎれいにし、庭の雑草を取りコスモスの種を蒔く。少年を卒業しつつある時期のひと夏の出来事。不謹慎なと眉をひそめる前に、ぜひ一読を。死ぬということを真正面から見つめています。この夏、映画にもなりました。(中山佳奈恵)

人の動き

6月末日現在 (前月比)		前年	同日比
人口	24,047 (+ 5)	[+ 106]	
男	11,790 (- 1)	[+ 61]	
女	12,257 (+ 6)	[+ 45]	
世帯	6,714 (- 2)	[+ 67]	
6月1日~末日			
出生	18	転入	51
婚姻	32	転出	52
死亡	12		



◎さて、来月号では、黒埼まつりやマンガ展などをお知らせする予定です。

○お詫び
七月一日号の四ページ、「心の教育フォーラム」の三段目、心の教育フォーラム推進会議の名簿で萩野久仁子さんとありましたが、萩野久仁子さんの誤りでした。お詫びして訂正させていただきます。(教育委員会)

昨年とは、うってかわって暑い毎日となっていますが、いかがお過ごしでしょうか。編集者といえば、毎日「暑い、暑い」を繰り返して、もう口ぐせになってしまいました。一雨でも降って涼しくなるとほしいものだ」と感じているのは、皆さんも同じではないでしょうか。▼雨といえは、こしはらく雨らしい雨が降っていませんね。日本の各地では、雨不足による渇水で、農作物や飲み水にも影響がでています。八月一日は「水の日」。この機会に貴重な資源である水の使用法について考えてみたいものです。▼人のコーナーは、都合により休載させていただきます。

